

○目的

平成30年7月豪雨を受け、現在国土交通省と愛媛県では激特事業に全力で取り組んでいるところである。その取り組み内容を流域住民の方々に理解してもらうために、激特事業箇所等の進捗状況について流域住民の方々と一緒に現場を回りながら説明を行う。見学会と意見交換会を実施。

○内容

1. 対象：流域住民、報道各社
2. 日時：令和元年10月19日(土) 8:30 受付開始
9:00~12:00
3. 場所：防災ステーション 集合
4. 内容：マイクロバスで参加者をご案内し、現地確認
その後意見交換会
5. その他：説明者は河川管理者(大洲河川国道事務所、
愛媛県大洲土木事務所)

○意見、感想

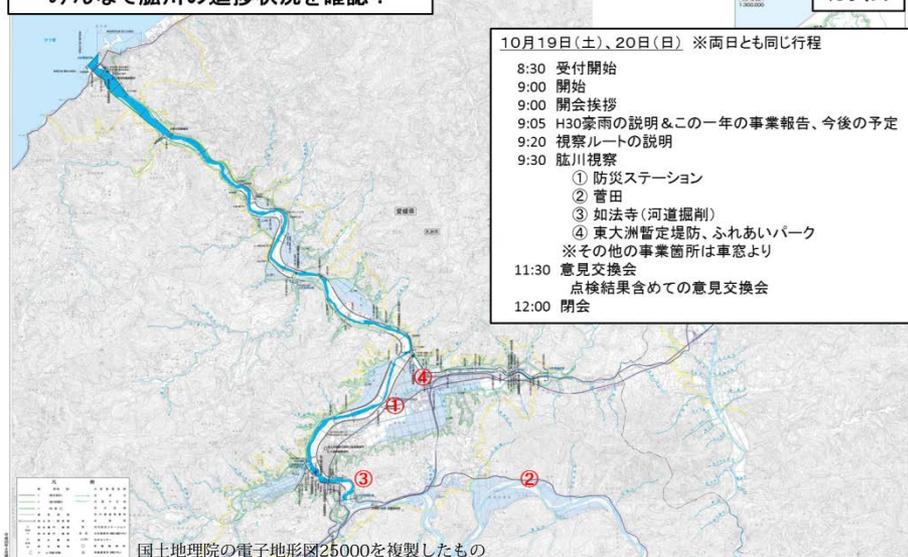
参加人数：一般参加14名 マスコミ2社(愛媛新聞、読売新聞)

- ・一言で堤防工事といっても、軟弱地盤の改良や周辺の状況など
気にすべきことがたくさんあり、築堤の難しさが分かった。
- ・近年は温暖化の影響や、災害の激甚化がいわれており、今日の
説明を受けて防災意識が高まった。
- ・各地区で状況も違うので、最終的な避難や防災活動は自主防災
組織や地区で作成するタイムラインが重要になってくると思う。河
川管理者には、その判断の材料となる情報の提供等お願いしたい。

○行程

みんなで肱川の進捗状況を確認！

別紙



現地説明状況



意見交換会状況